

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	事業所での仕事や支援を通じて、利用者の生きがいや励み、働く意欲につながっている
	内容	事業所では、利用者が無理なく目指せる仕事内容に目標を設定し、清掃業務に取り組む際には職員から仕事のノウハウを丁寧に伝えられている。ベテランの利用者は職員とともに清掃作業に力を注ぎ、その丁寧さが評価され、除草など新たな仕事の依頼も増えている。職員は新たな業務に取り組みつつも、利用者には過度な負担がかからないよう配慮を重ねている。利用者からは「知らなかった知識を学べた」「掃除の技術が身についた」といった喜びの声が聞かれている。事業所での仕事や支援を通じて、利用者の生きがいや励み、働く意欲につながっている。
2	タイトル	職員間の業務改善や情報共有に関する意識が高く、効率の良い業務や効果的な利用者支援につながっている
	内容	事業所の職員は業務改善に対して高い意識を持ち、内容や方法に課題が見つかった場合には、役割や立場に関係なく会議の場で提案し合い、効率的なサービス提供や清掃活動につなげている。さらに情報共有にも力を入れている。その背景として、活動場所がそれぞれ離れているため、情報のやり取りが不十分であれば業務が円滑に進まないことを全員が理解している。職員一人ひとりが情報共有を徹底する姿勢を持って業務にあたり、この取り組みが結果として効率の良い清掃活動や効果的な利用者支援の実現につながっている。
3	タイトル	職員の意見・意向をきめ細かに把握し運営に生かす仕組みがあり、職員の事業所への信頼感やモチベーションを高めているものと思われる
	内容	全職員を対象とした勤務評価制度に伴い、職員が提出する希望調書に基づき年1回面談を行っている。調書は、健康状態、異動希望、職場で困っていること、不安に思っていること、待遇面で改善してほしいこと、職場をより良くするための工夫や取り組んでみたいことの項目が設定されており、非常にきめ細かな内容となっている。事業所では、定例会議だけでは把握できない職員の意見・意向を積極的に把握し運営に生かそうとしており、こうした取組みが職員の事業所への信頼感を高め、モチベーションの高い職場風土の形成につながっているものと思われる。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	重点的取組みの進行管理の仕組みを構築するなど、事業所がより一体となった事業推進を実現していくことに期待したい
	内容	単年度事業計画に各年度の重点的取組みが掲載されている。今年度は、虐待防止、個別支援の強化、中長期計画策定等7事項で、新規の石神井庁舎移転関係を含め、今年度の事業所の努力の方向性が明示されている。一方、事業所では十分に周知されていないと認識している。重点的取組みを事業所全体で共有することは運営上重要であると思われる。今後周知の強化とともに、例えば年度中間で、前半の実施状況、後半の見通し・課題を整理し、共有する進行管理の仕組みを構築するなど、事業所がより一体となった事業推進を実現していくことに期待したい。
2	タイトル	清掃マニュアル以外のマニュアルについても整備を検討し、さらなる業務の水準向上を図っていくことに期待したい
	内容	事業所では、業務に対する職員の意識が高く、細部についても理解した上で業務にあたっている事もあり、円滑な業務遂行が図られている。しかし、こうした職員の業務遂行上のポイントなどを文書化したマニュアルが整備されていない部分もある。現在行われている業務で文書化されていない業務内容を洗い出して、業務マニュアルとして作成していくことに期待したい。将来的に入職する職員の業務基準となり、現在の職員にとっても業務を確認するためのツールとなるとと思われる、今後の検討に期待したい。
3	タイトル	全体の利用者が一堂に会して話し合うことや、会話を通して親睦を深める会の設置を期待したい
	内容	21名の利用者の働く場所はそれぞれわかれている。コロナ禍以前は、全員の利用者が集まり会をする機会があった。以降は一堂に会する機会が設けられていない。今回の利用者調査では、利用者の発言が多く、よく考えられた内容の発言が散見された。言葉で表現する能力のある利用者集団である。今後、年1回からでもレクリエーション以外の機会として、利用者自治会などを設立し、利用者同士で発言し合う場を作り、話し合いを通じてさらに親睦を深めてほしい。作業時間内に仕事の一環として利用者主体の会を設け、業務を進めていくことに期待したい。